

様式 4

平成 27 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 27 年 8 月 26 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 黒沢高秀



助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・ 学会等) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	水草研究会第 37 回全国集会 (福島)
事業実施期間	平成 27 年 8 月 22 日～ 平成 27 年 8 月 24 日
成果の概要	<p>福島大学共通講義棟において水草研究会第 37 回全国集会、総会を開催した。また、2 日目にはエクスカージョンを、3 日目には福島大学共生システム理工学類生物標本室 FKSE 見学・調査会を開催した。多くの参加者を得て、活発な議論が行われた。概要は以下の通り。</p> <p>8 月 22 日 (土) 役員会, 総会, 口頭発表, ポスター発表 10:00 役員会 12:00 受付開始 13:00 総会 13:30 口頭発表 15:45 ポスター発表 (~17:00)</p> <p>8 月 23 日 (日) エクスカージョン 8:45 福島駅西口出発 10:00 裏磐梯秋元湖 (イトイバラモなどの観察) 12:00 昼食 昼食後 裏磐梯レンゲ沼 (マルバオモダカなどの観察) 14:30 猪苗代町翁島ため池 (タヌキモなどの観察) 15:10 猪苗代湖松橋浜 (アサザなどの観察) 16:30 郡山駅着 17:30 福島駅着・解散</p> <p>8 月 24 日 (月) 標本室 9:00 集合, 標本室見学・調査 10:30 解散 (調査している人はその後も継続)</p> <p>講演数: 口頭発表 8 件, ポスター発表: 5 件 参加者数: 事前予約参加者 64 名 (一般参加 47 名 (エクスカージョンのみ参加の 3 名を含む), 学生 (学部生・大学院生) 17 名), 当日参加者 1 名, 合計 65 名</p> <p>大会の詳細は大会専用 HP でも公開している。 http://www.research.kobe-u.ac.jp/sci-kadono/mizuken37.html</p>

水草研究会第 37 回全国集会(福島) 研究発表要旨集

会期：2015 年 8 月 22～24 日（土～月）

会場：福島大学金谷川キャンパス，L4 教室

主催：水草研究会第 37 回全国集会実行委員会

後援：福島大学

福島大学資料研究所（標本室見学・調査会）

助成：福島大学学術振興基金

(臺灣) 全國全國 37 藥合突研草水
業首要速獎突研

(世一十) 計編一覽其第年2106一第

業業刊一第其第世第谷谷學大國醫一第

台其第一版其第國空回一第研合發研草水一第

學大國醫一第

(全書概一學第本第) 他字編目資學大國醫

全書編目編學大國醫一第

水草研究会第37回全国集会(福島)

研究会会長：角野康郎

大会会長：薄葉満

日時・スケジュール

2015年8月22日(土)～24日(月)

8月22日(土) 総会・研究発表会・懇親会

12:00- 受付(福島大学金谷川キャンパスL4教室)

13:00-13:30 総会

13:30-15:45 口頭発表

15:45-17:00 ポスター発表

18:00-20:00 懇親会

8月23日(日) エクスカーション(18ページ参照)

8:45- 福島駅西口出発

10:00-11:30 裏磐梯秋元湖(イトイバラモ, エゾノヒルムシロ, ヒルムシロ属雑種など)

12:00-14:00 昼食・裏磐梯レンゲ沼(マルバオモダカ, オヒルムシロ, ヒメタヌキモなど)

14:30-14:50 翁島ため池(タヌキモ, ツルアブラガヤなど)

15:10-15:30 猪苗代湖松橋浜(アサザ, コウホネなど)

16:30 郡山駅着

17:30 福島駅着・解散

8月24日(月) 標本室見学・調査(希望者のみ)(共生システム理工学類研究実験棟7階)

9:00- 自由解散

標本室見学および標本調査の申込をされた方は、9時以降に標本室に直接お出でいただくか、10時に大学構内の受付があった場所(L4教室前)に集合してください。集合に遅れた場合は、024-548-8201に連絡してください。当日参加も歓迎です。

会場(総会・研究発表会)

福島大学金谷川キャンパス

〒960-1296 福島県福島市金谷川1

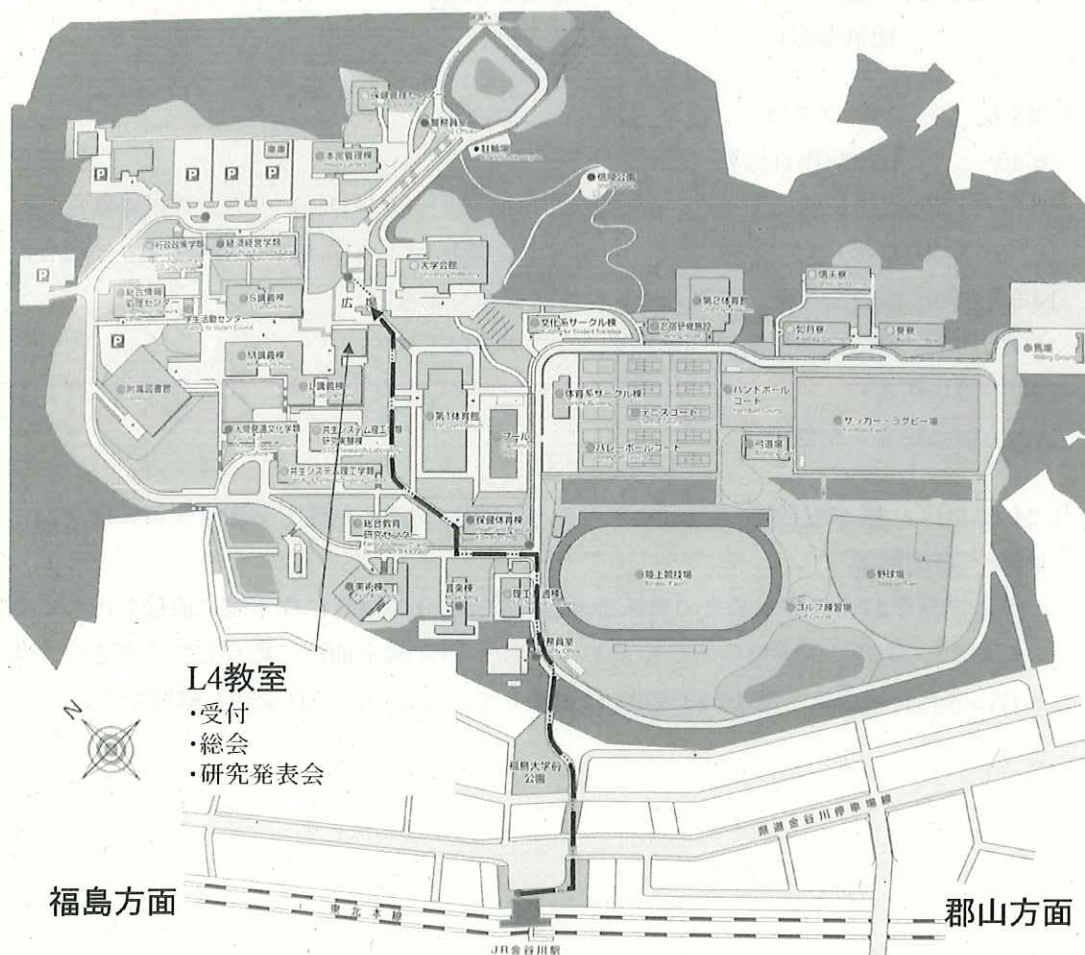
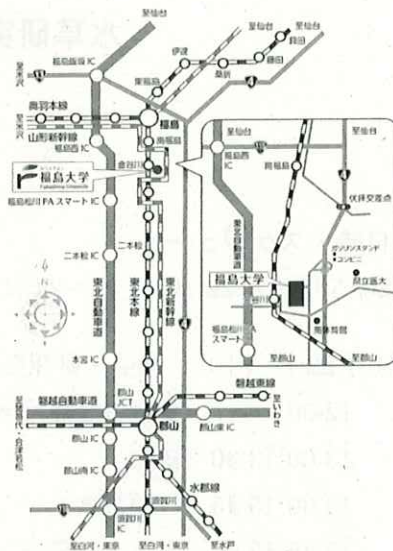
Tel.024-548-8201

<http://www.fukushima-u.ac.jp/new/18-koutu/index.html>

アクセス

大会会場の福島大学は JR 東北本線金谷川駅(福島駅から2駅東京側)より徒歩10分ほどです。

車での来場も可能です。福島西インターから30分、福島松川PAインター(ETC専用)から15分ほどです。大学への入り口がわかりにくいのでご注意ください。ゲートで警備員に止められた際は、学会参加者である旨お伝えください。



※懇親会場とエクスカージョン予定地については、それぞれ別紙と要旨集末尾を参照

水草研究会第37回全国集会(福島)研究発表会プログラム

口頭発表(13:30-15:45) *発表者

セッション1 座長: 志賀隆

- 琵琶湖に定着した侵略的外来水草オオバナミズキンバイ(広義)の分類
*¹稗田真也・²金子有子・³中川昌人・¹野間直彦(¹滋賀県立大・環境科学, ²琵琶湖環境科学研究センター・東洋大, ³岡山県農林水産総合センター・生物科学研究所)
- 水生植物ヒメガマの種子発芽特性における集団間変異
*倉園知広・角野康郎(神戸大・理・生物)
- 水田でみられるイバラモ属(*Najas*)の生育環境に関する考察
*嶺田拓也(農研機構・農村工学研究所)
- ホザキノフサモに付着した懸濁物について
*長谷川裕弥・吉澤一家(山梨県衛生環境研究所)

—— 休憩 14:30-14:45 ——

セッション2 座長: 山崎真実

- 日本にトゲホザキノフサモは生育するのか?
*志賀 隆(新潟大・教育)
- 千葉県手賀沼における過去の湖沼環境の推定 -特に帯状分布との対応について-
*山ノ内崇志・西廣 淳(東邦大・理)
- 湧水河川における外来水生植物の現状
*角野康郎(神戸大・理・生物)
- 裏磐梯の水生植物とその変遷 -30年間で失われた水草, 新たに見つかった水草-
*首藤光太郎・黒沢高秀(福島大・共生システム理工)

ポスター発表(15:45-17:00)

- P1. カワヂシャを用いた化学物質の影響評価法
*加藤貴央・石原 悟((独)農林水産消費安全技術センター農薬検査部)
- P2. 山梨県富士五湖の水草・大型藻類と湖水環境に関する既往資料解析
*中村誠司・上嶋崇嗣・渡邊亮・芹澤(松山)和世・芹澤如比古(山梨大・教育)
- P3. 山梨県富士五湖に現在生育する水草・大型藻類とその光環境
*上嶋崇嗣・中村誠司・渡邊亮・渡邊広樹・佐野英樹・田口由美・白澤直敏・佐藤裕一・深代牧子・土屋佳菜・芹澤(松山)和世・芹澤如比古(山梨大・教育)
- P4. 猪苗代湖の水生植物相の過去からの変化と現在の危機的な状況
*¹黒沢高秀・¹荒井浩平・¹難波謙二・²薄葉満・³鬼多見賢・⁴林義昭(¹福島大・共生システム理工, ²水草研究会, ³猪苗代湖の自然を守る会, ⁴福島大・教育)
- P5. ため池の管理放棄による植物群集の機能的変化
*¹外山 史也・^{1,2}赤坂 宗光(¹農工大・農学府, ² School of Biological Sciences, The University of Queensland)

